

令和7年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	わたなべ ともあき		
氏名	渡辺 智暁		
所属・役職	国際大学 GLOCOM 主幹研究員／教授／研究部長 NPO 法人コモンズフィア理事長 慶應義塾大学 SFC 研究所 上席所員		
活動拠点	東京		
略歴	米国インディアナ大学テレコミュニケーションズ学部博士課程修了。 （Ph. D. ）2008 年より国際大学 GLOCOM で研究に従事。慶應大学特任准教授などを経て、2019 年 12 月より現職。研究の傍ら、クリエイティブ・コモンズ・ジャパンやオープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパンの活動を通して様々な領域のオープン化の取り組みを支援・推進。 近年の関心は AI を含むデータ活用の促進、データの扱い方に関する工夫・制度など。		
地域情報化の 専門分野・技術	オープンデータについては国内外で、行政、市民セクター、企業など様々な方と議論をし、また政策の策定・実施に関する工夫の仕方について研究して来ました。オープンデータの世界でグローバル・デファクト標準になりつつあるクリエイティブ・コモンズ・ライセンスについては、その中でも深く掘り下げて来ました。 自治体の情報発信強化や住民参加の強化などを進める取組、多様な人を巻き込んだイノベーションなどに取り組みたい地域に興味を持っています。		
専門分野	オープンデータ EBPM（エビデンスに基づく政策立案） AI 活用 生成AI 活用 シェアリングエコノミー 計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） デジタルアーカイブ／図書館 働き方 テレワーク 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ その他		
自治体向けメッセージ	ICT やデータの利用者、受益者を中心に政策や、ビジネス、イノベーションを考えるような研究や活動に多く関与して来ました。こうした領域で共に考える機会を持てれば幸いです。		
関連サイト	http://www.glocom.ac.jp/researchfellows/tomoaki_watanabe http://researchmap.jp/read0153474/?lang=japanese		
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	・ オープンデータ政策（戦略・政策策定、体制づくり、ライセンス、開発者・利用者との連携、経済効果等） ・ 地域連動型のメタバースに関する助言 ・ AI 活用にあたっての倫理的課題の検討 ・ FabLab（デジタルファブリケーション技術を擁する市民開放型工房）を通じた地域経済の活性化に関する研究（フィリピン、ブータン、ルワンダ等） ・ 地方発・地方拠点を含むイノベーター、スタートアップの調査	

		・ 農業分野のデータ活用および ICT 活用の可能性に関する研究 ・ デジタルデバイド対策に関する研究
	これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト	日本 ・ 埼玉県日高市のオープンデータ推進支援 ・ 兵庫県 三田市のオープンデータ研修 ・ オープンデータの政策策定やデータを含めた情報共有のためのライセンス導入に関する議論・講演・支援等（国、自治体等多数） 米国 ・ 米国インディアナ州ブルーミントン市の SeniorCyberNet（高齢者向け PC 学習のための NP0）設立支援 ・ 同市の住民ディレクター式ケーブルチャンネルのアーカイブ支援 ・ 地域の IT スタートアップ支援他 ・ フィリピンにおける FabLab 活用を通じた地元経済活性化策の策定